18番 原田 靖 議員

1 総合行政について

(1) 今年は先の大戦が終わって80年の節目にあたる。鹿屋市においても特別企画展や創作舞台、平和の花束、子ども平和学習ガイドの育成、講演会の開催など様々な事業を展開し、多くの市民に「平和とは何か」問い直す機会を得ている。

① 企画展などその成果を踏まえ、各地域の学習センターなどにおいて巡回展を開催する考えはないか。

② 戦争体験者や空襲などで被災した方々に話を聞くと「二度と戦争をすべきでない」と口をそろえる。戦争のない平和な世界の実現に向けどのように取り組んでいくか。

③ 鹿屋海軍基地に報道班として滞在し特攻隊員とともに過ごした「川端康成の文学碑」を市民の協力を得ながら建立する考えはないか。

2 商工行政について

(1) 2025年度の最低賃金改定で、上げ幅、額ともに初めて全都道府県で1,000円を超えた。物価高が直撃し生活が困窮する中、働く人の処遇が改善されることは歓迎できるが、中小零細企業が大多数を占める地方においては、厳しい数字である。

① この状況（影響）をどのように捉えるか。

② 政府は2020年代に全国平均で時給1,500円に引き上げる目標を掲げている。この目標達成のため過去最大の引上げ額が続いている。商工団体や中小企業、労働団体等としっかり向き合い、賃金値上げにどのように対処していくべきか将来を見据えて議論すべき時期にあると思うがどうか。

3 農政について

(1) 農地や農道の除草管理について

- ① 農地の所有者や耕作者に対し農地の管理を徹底すべきと思うがどのように対処していくか。
- ② 耕作地が適切に管理できなくなることで農作物への害虫・害獣の被害が増大する恐れがある。遊休農地の解消に向け早急に対処すべきと思うがどうか。
- ③ 除草剤の使用について見解を述べられたい。